

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) ナカウン株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒703-8264 岡山市中区倉富340-18	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	44	業種名：道路貨物運送業		
事業の概要	岡山県内を中心に、クレーン事業・運輸業・建機リース業・引越しサービス業・観光バス事業等の事業展開をしている。従業員266名程。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社事業所		岡山市中区倉富340-18	
	②	水島事業所		倉敷市広江1丁目2756-1	
	③	総社事業所		岡山市北区高松田中209-1	
	④	津山事業所		津山市河面1198-1	
	⑤	引越し事業所		岡山市中区倉富330-6	
	⑥	高梁事業所		高梁市津川町今津863-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 6 所 ●車両台数 (②該当の場合) 380 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 27)年度排出量		目標年度(平成 31 年度)	
	7,017 t CO ₂	6,214 t CO ₂		6,666 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(平成 27)年度排出量	
	①	本社事業所		4,592 t CO ₂	
	②	水島事業所		892 t CO ₂	
	③	総社事業所		244 t CO ₂	
	④	津山事業所		236 t CO ₂	
	⑤	引越し事業所		136 t CO ₂	
	⑥	高梁事業所		114 t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(27) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	11.4 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量		
			基準年度	(27) 年度	目標年度
			CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】					
平成27年度の実績としては、基準年度の数値より削減達成は出来たと思われる。軽油使用量に関しては、水島事業所以外では減少した。大型特殊車の稼働が前年度より減少傾向になっていたことが要因かもしれない。また、社内取組み事項としては、以前からの燃費節約に対するアイドリング削減、各班の班会議での節約検討会を継続的に実施している効果も含まれていると思われる。貨物・旅客自動車に関しては、デジタル式タコグラフを活用した燃費集計、アイドリング削減に取り組んだ結果が全体的な削減に繋がったと思われる。					

【推進体制】

- 社内にエコドライブに係る管理責任部署（安全管理部）を設置し、エコドライブの推進体制の整備
- デジタル式タコグラフの活用等により乗務員別、車両別等のエネルギーの使用管理体制の整備

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全事業所 （本社・水島・総社・津山・引越し・高梁）	<p>（平成27年度実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空調設備の使用を必要最低限に抑え、節電の徹底。 ●本社事業所では、貨物自動車・旅客自動車の全車に対して、デジタル式タコグラフ、ドライブレコーダーを取付け、それらの機器による評価をもとに運行時教育の指導を図る。速度超過回数、アイドリング時間等の分析に努め、省燃費運転の指導実施。また、今まで取り付けていなかった、水島事業所・引越し事業所の貨物自動車にもデジタル式タコグラフの取付けを完了した。 ●貨物自動車・旅客自動車にドライブレコーダー機器を取付け、走行中の安全意識と燃費効率の意識向上を図った。 ●貨物自動車の乗務員に対して、蓄熱式ウォームマットを配布し、寒冷気候による長時間のアイドリングストップ対策。 ●クレーン車の乗務員に関しては、各班で作業効率と低燃費の検討会を実施。 ●クレーン車・貨物自動車を低燃費車両への更新。 <p>（今後実施予定分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各車両の配車担当者にも協力を仰ぎ、車両経路の選定（効率的な通行経路の選定）により一層努める。 ●各乗務員に対しては、引き続き省燃費運転の方法を指導するとともに、若手育成を含めて、運転指導を実施していく。 ●本社事業所内の整備工場に設置している蛍光灯・水銀灯をLED化に順次更新する。 ●平成28年2月に実施した「事業者訪問調査（簡易省エネ診断）」の結果報告を社内に取り入れながら、効果的な削減を目指す。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--